

議会だより さつま

令和3年11月4日発行

No. 67



もっと早く！

町陸上記録会（宮之城運動公園）
400メートルリレー（10月7日撮影）

9月定例会、8月・10月臨時会の概要・・・	2P～3P
常任委員会審査の概要・・・・・・・・・・	4P～5P
一般質問（12人）・・・・・・・・・・	6P～17P
議員活動、編集後記・・・・・・・・・・	18P



さつま町ホームページ（議会）

災害復旧費に 22億9,075万円

7月豪雨災害 1日も早い復旧をめざして

9月定例会

災害復旧事業内容

- ・農地415件
- ・施設249件
- ・河川61件
- ・道路19件
- ・林道など

第3回(9月)定例会は、9月3日から9月24日までの22日間の会期で行われ、条例の一部改正や各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

主な補正予算

企業振興費

2,146万円

立地協定を行った、アロン電機株式会社の設備投資などに係る補助金です。

畜産業事務費

650万円

薩摩家畜検査場の補修等工事費です。

新型コロナウイルス感染症関連

国の緊急経済対策等

297万円

ワクチン接種事業

医療機関等における時間外又は、休日接種加算に要する経費です。

令和3年度各会計補正予算額

8月補正
9月補正
10月補正

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一般会計 (4号・5号・6号・7号)	30億3,136万円	167億9,715万円
特別会計 国民健康保険事業	歳出項目組替えのため増減なし	30億9,205万円
特別会計 介護保険事業	1億9,422万円	38億4,753万円
上水道事業会計 (支出総額)	4,188万円	4億2,412万円

※金額は千円単位を四捨五入

町の緊急対策等

192万円

教育委員会事務局費

通学バス内での感染リスク軽減を図るための、臨時便運行に係る下半期分の経費です。



通行不能となった町道大俣線

10月臨時会

10月15日開会

8月臨時会

8月11日開会

8月と10月に臨時会を開催し、提案された一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。
補正予算の主な内容は、令和3年7月豪雨災害に伴う復旧事業費などです。

8月補正額(一般会計) 2億4,556万円

10月補正額(一般会計) 1億4,796万円

くどう変わった 我が町の条例く

行政手続における押印見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

固定資産評価審査委員会条例、集会所条例、火入れに関する条例、普通河川等管理条例の4条例の一部を改正するもので、町民の利便性の向上及び行政事務の効率化を図るための見直しです。

個人情報保護条例及び個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う改正で、個人情報保護条例等の条項を改めるものです。

工業開発等促進条例の一部改正

改正の内容は、固定資産税免除の対象となる業種に情報サービス業等が追加されたことや期間を令和6年3月31日まで延長するものです。

「過疎地域持続的発展計画」を策定

令和2年度で過疎法の期限が切れ、新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことにより、地域活性化等の取組をさらに積極的に推進するために、令和3年度から7年度まで新たに計画を策定するものです。

その他の議決事項

川口平川線3・4工区工事請負契約の締結

町道川口平川線の道路新設にかかる橋りょうの橋脚1基を整備するものです。

■契約金額

6399万8千円

■契約の相手方

株式会社二渡建設



橋りょうの工事が始まる（3-1、3-2工区）

【報告】

令和2年度健全化判断比率の報告

【審査意見】

法令の定める早期健全化基準を下回っており、良好な状態にありません。

令和2年度資金不足比率の報告

【審査意見】

上水道事業会計、農業集落排水事業特別会計において資金不足は生じておらず、良好な状態にあるといえます。

決算特別委員会を設置

令和2年度決算について、町歳入歳出決算、上水道事業会計決算、利益剰余金の処分について、決算特別委員会を設置し、審査を付託しました。審査の内容は、令和4年2月発行予定の議会だよりに掲載します。

【発委】

※

地方財源充実を求める意見書を国へ提出

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面していることから、地方財源の充実を求める意見書を、内閣総理大臣や参議院議長、衆議院議長ほか5人の大臣へ提出しました。

※発委とは

はついで
議会の委員会が条例案や意見書案などの「議案」を議長に提出することです。提出には、会議規則で定められた数の賛成者が必要です。



委員会に付託された議案全て原案可決

条例改正（1件）
一般会計補正予算（関係分）
特別会計補正予算（2件）



常任委員会審査

総務厚生

委員会審査の中で出された質疑、意見などを掲載しています。

一般会計補正予算
（第6号） 関係分

不妊治療の効果は

【森山】

答 近年は治療の成果も上がってきており、今年度は約半数の妊娠を確認している。

公民会集会施設のバリアフリー化改修で対象となるものは

【岸良】

答 トイレの洋式化やスロープ、手すりの設置が対象となる。また、令和4年度までは補助率を高く設定し、バリアフリー化の推進に努めている。



公共施設等総合管理計画の内容は

【岸良】

答 公共施設等の改修や廃止などの実績を整理するなどして、全体的な分析を行う計画である。

8億円を超える地方債の増額は財政運営に影響しないか

【中村】

答 災害復旧事業が主な増額の要因であり、交付税措置が高い起債であることから、町財政への影響は少ない。



改修工事予定である南川公民館（永野地区）

旅券の申請交付は住民票のある市町村のみか

【中村】

答 原則住民票のある市町村での申請交付となるが、勤務地や学生は居所でも可能であり、急を要する場合等は、県民交流センターでも可能である。

新型コロナウイルス感染者の入院調整や町内医療機関の対応は十分か

【中村】

答 入院調整は川薩保健所が管内の医療機関で対応し、町内でも対応可能な医療機関はあるが、全て川薩保健所に対応している。



旅券の申請手続きを対応する職員

文教経済

委員会審査の中で出された質疑、意見などを掲載しています。

委員会に付託された議案全て原案可決

条例改正（1件）

一般会計補正予算（関係分）
上水道事業会計補正予算

一般会計補正予算
（第6号）（関係分）

落語四人会のチケット販売が目標額に達しない場合の対応は
〔古田〕

答 コロナ禍での販売になるが、販売目標は100枚で、目標に達しなくても開催への影響はない。

薩摩家畜検査場の利用状況は
〔上別府〕

答 和牛登録を年4回開催し、約50頭登録されている。



改修工事計画の薩摩家畜検査場

町内認定農業者の加入と脱退の状況は
〔平八重〕

答 高齢や病気などの理由で昨年は14経営体が再認定を辞退されたが、兼業農家等で新たに3人認定された。

有害鳥獣対策の電気柵等補助金交付申請をしても決定を待つことがあるか
〔新改〕

答 補助の要望が多く、予算不足となり、交付決定を待っていた状況がある。

◆要請◆
公平で迅速な補助金の交付ができるよう、対策を検討するよう要請する

小動物による農作物被害対策は
〔上久保〕

答 タヌキとアナグマ各1匹に3,500円、カラス1羽に600円の捕獲報償金制度がある。近年は特にアナグマの被害が増えている。



シカ被害対策の電気柵

令和3年第4回(12月)定例会は11月30日開会予定です

12月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
				11/25 議運	11/26 全協	11/27
11/28	11/29	11/30 本会議 (開会日)	1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4
5	6 本会議 常任委員会	7 常任委員会	8 常任委員会	9	10	11
12	13	14	15	16 常任委員会 議運 全協	17	18
19	20 本会議 (閉会日)	21	22	23	24	25

日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局（53-1111）にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット（YouTube）で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

議会情報を満載

《さつま町ホームページ》
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下画面から
議会情報をご覧いただけます。

さつま町議会

ここをクリック

一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。



上久保 澄雄 議員

感染症対応の基本姿勢・指針を

町長／ガイドライン策定により周知

感染対策

問

ワクチンの接種状況と接種率及び今後の接種計画は。また、感染者自宅待機者・療養者へはどう対応されているのか。病床の確保など関係機関等との連携はどのようになされているものか。町民生活・自治活動に対する指針等も示すべきでは。

答

高齢者の2回目接種率は8月末で約93%であり、町全体では約63%と、いずれも国・県の平均を上回っている。今後、ワクチンの十分な確保が可能となるため、速やかな接種に努める。保健所や医療機関が連携し、当初における感染状況等の報告はなされている。住民生活や自治活動については、今後ガイドラインによる周知を図りたい。

内排水対策の強化を

町長／被害軽減と国へ要望

浸水被害

問

本年7月の豪雨により下湯田第一樋門に通じる畜舎等に浸水被害が発生し、過去にも同様の被害を受けていることから排水ポンプが設置されたが、十分な機能を果たしている状況にはないため、抜本的な対策を講ずるべきと考えるが。

答

下湯田川の流水と周辺からの排水により度々浸水が発生していたことから、令和2年度に国土交通省により樋門管理道路の整備がなされ、町で毎分8トンの排水用ポンプ一台を設置した。今後も被害軽減に努めていくと共に期成会等を通じて国等への要望を行う。



7月豪雨で浸水した畜舎（下湯田地区）

通学路整備

登下校時の安全対策を

教育長／通学の安全確保に努める

問

令和4年4月からの新鶴田小学校の開校に伴う通学路となる町道は、一部改良整備中であるが全線の整備は数年必要とのことである。整備促進と整備期間中の登下校時における子供達に対する安全をどのように確保されるのか。

答

町道湯田原線は、一定の歩道区間の確保や縁石・カラー舗装による歩行者空間の確保に向け工事中である。危険箇所を優先し、令和5年度には完成させたい。整備期間中は、注意喚起の看板設置や学校・PTA・関係機関等と連携し安全確保に努めたい。



安全に登下校できるように道路改良が進む（町道湯田原線）



柏木 幸平 議員

災害対策

災害対策本部の反省点は

町長／検証や改善が必要

問

7月9日夜から10日朝方にかけて、紫尾山系に記録的な大雨が降り、町内に甚大な被害が発生した。今回の災害は平成18年豪雨災害が教訓となった

のか。また、災害本部としての反省点はなかったか。

答

深夜未明に天候が急激に悪化し、町民の方々が避難の準備から安全を確保するまで短時間であったので、検証や改善の必要を感じている。今後、的確な情報をいち早く収集し、地域住民へ情報提供ができるよう関係機関との連携強化に努める。

排水機場の早期建設を 町長／国交省に強く要望する

問

川内川に流れ込む虎居の都市下水路の流末は樋門になっている。樋門には、排水ポンプ車が配置されるが、今回、事業所や車両に内水被害が出た。住民は、排水機場の早期建設を望むが、今後の対応は。

答

虎居樋門に配備されている国土交通省のポンプ車は、毎分60トンの排水処理能力があるが限界もある。今回の災害を教訓にして、今後も継続して排水機場の設置と排水ポンプ車の追加配備など、国土交通省に強く要望を行っている。



虎居樋門

インフラ整備の必要は

町長／国・県に改善要請する

問

今回の災害により、道路の決壊や浸水による通行止めが発生し、一時、消防団活動や緊急避難時等に支障が出た。道路や下水路の改修について今後の対応と、災害箇所の「改良復旧」の考えは。

答

崩土等により通行不能が、108カ所、冠水箇所が13箇所あった。数ヶ月は通行に支障があると思うが、早期の災害復旧に努める。下水路は、今後も維持管理に努める。また、災害箇所の「改良復旧」については、国・県に要望をしている。

災害避難所の見直しは

町長／担当課に検討を指示

問

町内各地区に避難所が開設されたが、新型コロナウイルス感染症対策は万全であったか。また、避難所での不満等も聞いているが、避難所の見直しなど改善していく考えはないか。

答

避難所における感染症対策は、国や県が示すマニュアルを参考にして、過密状態にならないようにしている。なお、避難所の見直しは、全体的な避難のあり方や公民館を使った自主避難等、担当課に検討を指示している。

コロナ支援

対策と追加支援の考えは

町長／今後も検討していく



新改 秀作 議員

経済状況は、全てにおいて打撃を受けていると認識しており、今後の支援については、町内事業者の状況を把握し、国や県の動向を注視しながら追加の支援も含め対策を検討していく。

問 本県に「まん延防止等重点措置」が適応されたが、本町の対策はどうか。また、製造業・観光業・商業・農業における経済状況をどのように捉えているか。さらに、今後、追加支援の考えはないか。

答 飲食店への時短要請や施設の利用制限を行い、12歳以上18歳以下の子どもたちは夏休みを利用し、ワクチン接種を実施した。

児童・生徒への対策は
教育長／マニュアルにより進める

問

今後は子どもから子どもへの感染が懸念されるが対応策は。またクラブ活動への支障はないか。学校における環境衛生の指導はどのように行っているか。

答

基本的な文部科学省の衛生管理マ

ニュアル「学校の新しい生活様式」に従って進めていく。マスク着用・手洗い、三密の回避等を厳守し、感染防止対策を図っていく。また、日常の検温や健康観察を徹底するとともに、児童生徒の心のケアも図っていく。

教職員の負担軽減は

教育長／さらに進める

教育行政

問

令和4年度より小学校5・6年生に教科担任制が導入されるが、本町の対応はどうか。以前の一般質問で教員の労働時間及び働き方改革について質問を行ったが、その後の状況はどうか。

答

本町では、理科と音楽、英語において専科教員による指導が行われている。今後は、授業支援による教科担任制なども導入できるよう指導したい。教員の関係については、業務の簡素化・効率化を積極的に進めており、さらに質の維持・向上に努めていく。

特別支援学級の対策は
教育長／連携を図り資質向上に努める

問

特別支援学級の生徒が増えている傾向があると言われているが、今後の問題点として、何が考えられるか。またその対策をどのように講じていく考えか。廃校跡地を専用の教室として使用することは可能か。

答

対象児童は増加傾向にあり、子どもの可能性を伸ばすた

め、よりきめ細かな支援が必要である。各学校では、特別支援教育に関する校内研修の実施や各研修会へ積極的に参加するようにしている。また、通級指導教室を盈進小学校に開設し個別の指導を実施しており、今後も関係機関と連携を図り、教職員の資質向上に努めたい。廃校利用は、県への要望を行っていく。



英語の授業の様子（流水小学校）



平山 俊郎 議員

交通安全

手上げ横断の実践推進を

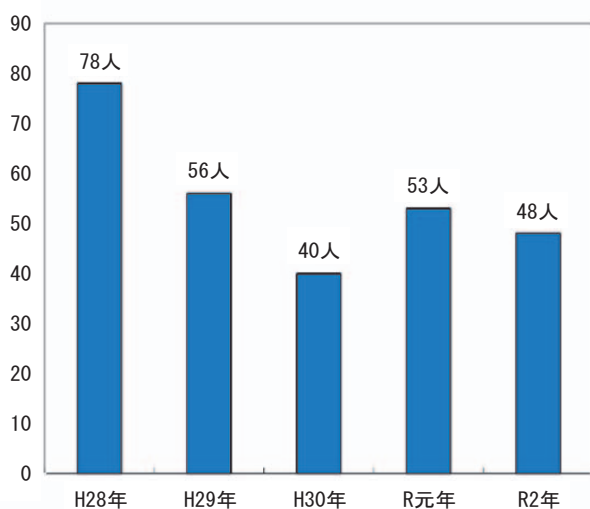
町長／推進し事故防止に努める

問

本年6月に警察庁は「交通の方法に関する教則」に「手上げ横断」を43年ぶりに復活させた。そこで、他の市町村に先立ち、「手上げ横断」の実践を推進し、歩行中の事故防止に努める考えはないか。

答

運転者に自己の存在をアピールする「手上げ横断」は、周囲の安全確認と事故防止につながる大切なことだと感じる。「手上げ横断」の実践については、交通安全協会を始めとする関係機関・団体とも連携して推進し、歩行中の交通事故防止に努める。



町内の交通事故状況（人身事故：県警察交通統計）



横断歩道では手をあげて渡りましょう
(交通安全教室：盈進小学校)

安全対策

通学路の安全対策は

教育長／

関係機関と連携し改善する

問

千葉県で、下校途中の小学生の列にトラックが突っ込み5人が死傷するという事故があったが、それに関連して過去5年間に於いて、小学校通学路の危険箇所がどの程度改善されたか。改善されていない箇所について、今後どのように対処していく考えであるか。

答

町内に危険箇所は67カ所あり、そのうち改善されたものが21カ所、現在改善中のものが16カ所ある。経過観察中のものが30カ所あるが、ガードレールや横断歩道の設置、交通規制など関係機関と調整中であり、今後、関係機関と連携を図りながら改善を推進していく。



危険箇所点検（佐志地区）

地域活力

人口減少対策は

町長／新たな取組を指示



森山 大 議員

自分たちで「できること」を創造し、その実現へ向け皆で取り組んでいく。行政側からお願いしている役割や取り組みについても、議論し改めるべきところは改めていく。

発想と施策は

町長／プロジェクトチームの設置へ

問

政府の第1期総合戦略では、東京一極集中の是正と地方の活性化に向けられ、目標達成も24年度に先送りされた。コロナ禍で出生数の落ち込みも予想され、先行きが厳しいと、町長はどのような発想で施策を講じるか。

答

第2期の総合戦略を策定し、定住促進、住宅取得による定住支援、空き家バンク制度等を実施している。また保育料の軽減、子ども医療費の助成対象年齢の拡大等を行っているが人口減少の抑制に至っていない。現在複数の課でプロジェクトチームの設置を指示している。

買い物支援

買い物弱者対策は

町長／調査研究し検討したい

問

高齢者の食料品確保や生活の質の維持は、新型コロナウイルス感染症防止と並び重要だ。買い物に支障のある方へ行政と民間が連携して支援すべきと考える。さらに民間を含めた移動販売を増やしていく考えはないか。

答

ヘルパーによる買い物や訪問型の移動サービスの支援、シルバー人材等による家事援助支援、社会福祉協議会による支え合いネットワーク事業による支援などが利用されている。また民間を含めた移動販売は、調査・研究を行った上で検討したい。

問

人口減少の加速は顕著だが、地域の活力をどう引き出せばいいのか正念場である。実効性のある対策に官民一体で取り組み、各地域の魅力をどう高め、発信していく知恵を絞る必要があるが、どのような視点に立って推進するか。

答

各地域を見つめ直し、その見つけ直す中で、「ないものを見つける」のではなく、「あるものを探し」

給付と負担のバランスは

町長／体制づくりに努めたい

介護保険

問

来年から団塊の世代が75才以上の後期高齢者医療保険に加わり、介護保険サービスの重要性はさらに高まる。介護保険制度の存続には改革が必要で、保険料の上昇は避けられない。給付と負担のバランスをどう取るべきか。

答

保険給付に見合う負担を増やすかの収支バランスをとる必要がある。今後高齢化に対応できるよう、地域づくりとして、高齢者の見守りや安否確認、支え合いなどを目的とした介護予防、生活支援の体制づくりに努めたい。



今日は何を買おうかな（移動販売で買い物中）



上別府 ユキ 議員

道路改修

県道改修要望は

町長／連名で要望書を

きょうあい
狭隘とは
幅や面積がせまいこと

問

県道針持く永野線の改修について地元永野区では、伊佐市議会議員や針持地区の方々と意見交換を重ね、共に足並をそろえて要望していくことを決定したが、町としてはどう考えるか。

らうように県には進言する。狭隘きょうあいな部分の局地的改良を含めた両地域民の声での要望書提出を進めてほしい。

答

本町としては、優先度の高い他の3路線の進捗状況を注視している。路面の損傷や支障木の伐採などの維持管理に努めても

雇用改善

学校司書雇用の改善は

教育長／会計年度任用職員として

問

各学校司書は、PTA雇用のまま、短期雇用契約の上、給与水準も低い状況であるが、改善する考えはないか。

答

数年前から近隣市町の雇用状況や、学校長の意見を聴取し、検討してきた。令和4年度を目途に会計年度任用職員として改め、学校司書雇用の改善につなげるよう努めてまいりたい。



本の貸し出しをする司書（永野小学校図書室）

平等な利用の在り方を

教育長／勤務条件の整備を図る

問

小規模校と大規模校では勤務にバラツキがある。小規模校では、週3日勤務の学校があり、勤務のない日は図書室は力ギがかかっている。子どもたちの学習のため、平等な利用の在り方は考えられないか。

答

現在、学校司書の勤務条件は学校により異なっている。今後、勤務条件等の整備を図り、学校とも十分協議しながら、子どもたちの読書活動の充実に努めていき、新たに学校間における相互協力体制を整備し、勤務者の働きやすい環境づくりに努める。

退職金積立ては

教育長／各PTAで精算を

問

PTA会計支出として退職金の積立てなどを行っている学校もある。今後の対応は。

答

これまで、一部の学校で、PTAの予算から学校司書の退職金積立てが行われていた。会計年度任用職員に移行された場合、これまで積立ててこられた退職金については各PTAで精算してほしい。

コロナ対策

飲食業以外の支援は

町長／エール便など検討中



古田 昌也 議員

らどのような支援が出来るかを検討する。また、さつまエール便なども再度検討を指示している。

※エール便とは
ふるさと納税返礼品等のさつま町の逸品を試みできるモニターを全国から募集。新型コロナウイルス感染拡大で影響を受ける事業者の支援や町内経済の下支えとして実施する事業。

問 新型コロナウイルス感染症がまん延し、飲食業すべてに対して時短営業の要請がでた。その為、飲食業に関わる事業者にも影響が出ている。その事業者に対して、支援を行う考えはないか。また、昨年の事業で行ったエール便を再度行う事は出来ないのか。

答 飲食業の休業に伴い、関連の事業にも大きな影響が出てくると考えている。感染症の状況を見なが

感染症情報の周知は 町長／随時お知らせ版等で周知



ワクチン接種会場（JA北さつま農協）

問 感染拡大が進む中、正しい情報の判断がわからなくなっている。その中で、地元医師や専門家などと意見交換等を行っているのか。その情報を、どのように町民に伝えるのか。

答 医師や専門家との意見交換は、随時行っている。情報の伝え方としては、防災無線、町のホームページやLINE、お知らせ版等で随時周知をしている。

ワクチン以外の対策は

町長／徹底した感染対策を

問 対策がワクチン接種に限定されている印象であるが、ワクチン以外の対策は考えているのか。

答 ワクチン以外の対策について現時点では、考えていないが、一人ひとりの徹底的な感染対策しかないと考えている。また、個々が基本的で確実な感染対策を実施するのが一番の対策になると考えている。



そのほかの質問
鶴田農産物処理加工施設の位置付けと運営について



川口 憲男 議員

農業政策

農林業の生産基盤強化は

町長／関係団体との強化を図る



水田に作付された里芋

問

生産性基盤の強化や地域特産品のブランド、強化策等農業の生産性向上、収益向上を図る考えだが、具体的対策は。また、全天候型ハウスの推進を図り、野菜の6次産業化につなげる考えは。

答

水田の排水対策を実施、生産基盤の強化を図り高収益である野菜等の作付を推進したい。またJA等関係機関と連携して地域ブランド創出に向けた支援強化を図り、本町の優れた農産物を多くの方に知ってもらい、トップセールスを積極的に行う。

商工業の推進は

町長／制度充実による経営支援を

問

地場産業の育成や新たな起業・創業支援等の施策に取り組むとされているが、現在の商工業の実態を把握し、持続可能な経営への支援をどのように考えているのか。

答

地場産業の振興発展により、税収

増加や就業確保、人口減少対策につながる。高齢化や後継者不足による事業継続ができない現状にある。新たな支援が必要なら事業者の意見を聞き、政策立案に取り組み誘致企業を含め制度の充実による経営支援に繋げる。



誘致企業である、さつま町バイオマス発電所竣工式（柏原地区）

教育行政

GIGAスクールの取組は

教育長／バランスをとりながら

問

GIGAスクール構想で小中学校全ての児童・生徒にタブレット端末が提供されている。授業等での活用状況は。また、今後のICT教育への取り組みをいかに進めていく考えか。

答

ホワイトボード

今後の課題は

教育長／教員のスキルアップ

問

ICT教育の充実も進展するのでは。学校での機器の取扱いパソコン・スマートフォンの良い方向に活用する教育が大事と考えるが今後の課題は。

答

今後は、教員のスキルアップが喫

や小黒板を使っていたが、学習内容の定着を図るため、ドリルアプリを授業のまとめで活用している。タブレット端末は学習のための道具であり、書く時間が省略できている。今までの学習方法とバランスをとりながら進めていく。

緊の課題と捉えており、佐志小学校をICT教育に関する研究校に指定し、町内の教職員に授業公開するなど先行研究に取り組んでいる。また、各学校へICT支援員を派遣し、校内での研修や個別の問い合せに対応している。

避難情報

情報提供のあり方は

町長／

情報共有を図り早めに発令



橋之口 富雄 議員

報が不足している現状である。夜間の避難を避けるため、ゆとりある避難を想定しながら早めの避難指示等の発令に努める。地域住民への情報提供や共有を図りたい。また、防災意識の啓発に取り組む。



的確で迅速な情報提供が求められます
(放送中のためマスクをはずしていません)

問

7月の大雨で甚大な被害が出た。豪雨時の川内川やその支流である、夜星川、泊野川、海老川等の状況について、情報提供を的確に住民に周知することは避難等に大いに参考になる。町民への情報提供のあり方についてどう考えるか。

答

県管理の支流は7カ所の水位計だけで確認しており、情



ほたる橋に設置された水位計（柏原地区）



7月豪雨災害（平川地区）

道路通行不能の情報は

町長／案内板を設置し周知

問

今回の大雨で道路決壊やがけ崩れなど甚大な被害が出たが、住民に対する情報を的確に周知する情報提供の在り方についてどう考えているか。

答

道路の通行止など、災害箇所については、情報提供があった際にその都度職員が確認に向き、状況を見極めながら片側通行や通行止などの案内板を設置する事で周知をしている。



有川 美子 議員

災害とコロナ

車中避難者への情報は

町長／防災無線やSNS等で提供

問

コロナ感染拡大中に大地震等の大規模災害が発生した場合、避難者が感染を恐れて車中避難を選択する可能性が高い。車中避難の場所は、どの程度確保できるのか。また車中避難者に対してどのような方法で避難場所や避難情報の提供等を行う考えか。

答 (町長)

避難情報は、防災無線や町のホームページ、携帯のLINE情報等、あらゆる方法を利用し提供する。

(危機管理監)

指定避難所内の車中泊は対応可能と考えている。指定外への避難者は、どこに避難するのか等の情報を、身内や関係者等へ連絡してもらえれば、後々の対応にも活用できると思う。

8施設今後の避難所活用は

町長／廃止・譲渡後も継続利用

問

現在避難所として活用中の8つの公共施設を、個別施設計画にて廃止又は譲渡対象としてリストにあげているが、災害発生時の避難所としての活用はどうするのか。また、譲渡後の施設維持に関する補助金等の考えはあるのか。

答

避難所としての施設そのものを、廃止するというのではない。廃止の泊野・柗野地区体育館は、普通財産に移行し、引き続き町が維持管理する。譲渡施設は、引き続き運営補助をすることから地元へ施設の維持管理をしていただき、避難所としても活用させていただきたい。



町指定避難所となっている柗野地区体育館
(旧柗野小学校体育館)

妊婦とコロナ

妊婦の感染者医療体制は

町長／体制強化の要望を続ける

問

本町在住者で、妊婦が新型コロナウイルス感染者となった場合、医療機関の受け入れ先はどうなっているのか。

答

川薩保健所に確認したところ、産婦人科を併設していて、安心して出産できるよう、体制強化について引き続き要望等を行ってまいりたい。

検査費用の助成の考えは

町長／国の事業で助成金あり

問

妊婦が入院する際、病院によってPCR検査が必要であるとのことだが、検査費用を助成する考えはないか。

答

国の事業で検査費用の助成がある。希望される妊婦は、かかる。国の事業で検査費用の助成がある。希望される妊婦は、かかる。

災害対策

観測体制や警報体制は

町長／十分とは言えず



中村 慎一 議員

- (3) 安全な道路は防災訓練等で再確認を。
- (4) 避難所は地域の実情で異なる。
- (5) 2年度災と3年度災と工事内容を精査し負担軽減を図りたい。

答

- (1) 中小河川の観測体制や警報体制は
 - (2) ハザードマップの見直しは
 - (3) 安全な避難道路を
 - (4) 避難所は住民本位に再点検を
 - (5) 復旧工事に伴う被災者の負担軽減を
- (1) 観測機器は不十分、中小河川の情報は消防団情報等目視情報。
- (2) ハザードマップには中小河川の被害想定は含まれない。

洪水対策

川内川洪水対策は

町長／町民と認識を共有

問

鶴田ダムの緊急放流予告に対して住民の避難行動は。また浸水被害の想定は。川内川激特ダム改修後でも再度被害が想定されるのか洪水対策の実態は。

答

虎居・湯田の避難所を高台に変更し、流域住民の避難を



氾濫した川内川（とどろ大橋：平成18年7月）



低地にある湯田地区避難所（湯田いきいき研修館）

地元消防団と呼びかけ概ね避難がなされた。河川事務所からは想定雨量の範囲内なら堤防は超えないと連絡があり、激特事業・ダム再開発事業の効果が確認されたと思う。想定外の災害発生の懸念はある。町民と認識を共有し防災意識の向上に努めたい。

行政改革

行革施設管理計画は

町長／文化施設は更に検討

問

行革の個別施設計画では集約から廃止まで年度を明記されているが、文化センター、保健センター、各地区交流館、児童遊園地、武道館等の機能性の問題・課題等検討されているか。

答

文化施設は基本構想の素案作成、複

合施設の検討、候補地の中間報告を行ったが更なる検討が必要。保健センターは宮之城に集約し鶴田は老人福祉センターとして活用予定。地区交流館等は地域の活性化計画に基づき進める。児童遊園地は5カ所を廃止、武道館は鶴田に一本化を予定している。



老人福祉センターとして活用予定である鶴田保健センター（神子地区）



平八重 光輝 議員

やさしや

日本一やさしい町に

町長／目くばり 気くばり 思いやりで



あいさつ運動の様子（中津川小学校）

（教育長）
学校評価アンケートでは学校でのあいさつは「よく出来ている」との評価になっている。

答
（町長）

あいさつは人と人が最初に交わすもので、日常生活上欠かすことのできないものであり、マニフェストに「目くばり、気くばり、思いやり」でお客様の気持ちに向き合うよう職員に発信している。

問

良き出会いの始まりはあいさつからと思うが、役場や学校の現状をどのように把握しているか。

生理の貧困対策は

町長／個室トイレにも準備



町女性団体連絡協議会から宮之城中学校へ生理用品が贈られる

問

新型コロナウイルス感染症のまん延により、職場を失ったり、収入が少なくなったり、生理用品にも不自由している報道等を目にするが、現状をどのように理解され、対策をどう考えるか。

答

（町長）

20日時点）では鹿児島内閣府調査（7月

（教育長）

各学校で生理用品が必要なときは、保健室に準備してある。

県内の対応は全国最下位となっている。児童生徒が気兼ねなく利用できるよう、個室トイレにも生理用品の配置が必要と考えている。他の貧困対策も含めて対応する。

問

人口減少や少子高齢化が顕著に進む中、限られた予算や人材を有効に活用し、町民の満足できるサービスを提供するには、ICT化が必須と思うが。

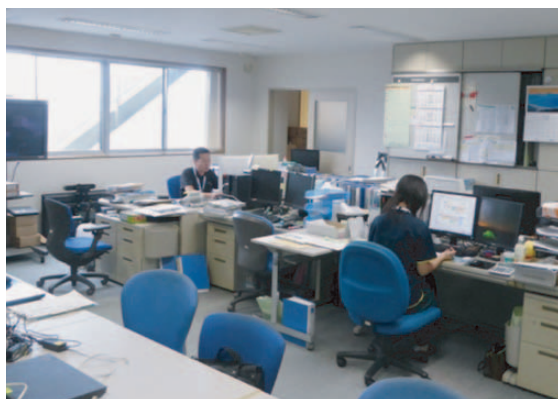
答

行政のデジタル化は、マニフェストの一つでもある。ICT化など新たなシステムを用いた業務の軽減化に取り組むことが、安定的な町民サービスの提供と更なる住民サービスの向上につながると認識しており、積極的に取り組んでいきたい。

ICT化

役場業務のICT化は

町長／積極的に取り組みたい



役場の電算業務を担う情報政策係

議会活動



7月の記録的豪雨による災害調査を実施しました。(8月6日)



町単独議員研修会として、7月の豪雨被害状況やダム放流について、川内川河川事務所と鶴田ダム管理所の説明を受け、意見交換を行いました。(10月15日)



新議員研修会が鹿児島市で行われ、6人の新議員が出席しました。(10月11日)



第16回国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会による現地調査と総会が本町において開催されました。(10月20日)



宮城県町村議会議長会より、本年7月の豪雨災害義援金を鹿児島県町村議会議長会へ贈られ、被害の大きかったさつま町へ贈呈されました。(10月22日) (右側から)鹿児島県町村議会議長会 中村事務局長、高田副町長、柏木副議長



国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会の要望書を県副知事へ提出しました。(10月22日) (右側から)宮之脇議長、藤本副知事、上野町長

編集後記

改選後2回の定例議会の一般質問が合わせて二十人となり、昨年一年間の二十一人に追いつく勢いです。

現下の課題を取り上げた災害関連の質問から、高齢者対策、感染症対策、農業対策、教育対策ほか幅広く質問が繰り広げられました。

全国で災害が頻発する中で7月豪雨。平成十八年以来の甚大な豪雨災害にも関わらず、被災状況をものともせず懸命に復旧作業にあたる地域の人達を目の当たりにして、叱咤されるかのような感覚に。改めて「言論の府」としての議会の役割に思いを馳せながら、4人の委員による編集作業は原点回帰になっています。

秋の収穫作業が真っ盛りです。表紙写真に季節の行事や人物写真には細心の注意を払いながら掲載しました。(中村)

議会広報特別委員会

委員長 上久保 澄雄
副委員長 有川 美子
委員 古田 昌也
委員 中村 慎一

発行／さつま町議会

発行責任者／さつま町議会議長 宮之脇 尚美

〒895-1803さつま町宮之城屋地1565番地2 電話 0996-53-1111 FAX 0996-52-0704